

笑顔のひろば

ひとりりで障害者協働支援ネットワーク

第72号

1面：コロナ禍の中迎える新年度／第61回定例会報告／第62回定例会案内 2面：あいサポート運動がスタートします 3面：自立支援協議会報告／取手市議会「全方位カメラ」見学記 4面：ネットワーク参加団体からのお知らせ／ホームページアドレス変更／発行／連絡先／会員募集／寄付金受け入れ

コロナ禍の中迎える新年度

新型コロナウイルスはオミクロン株に変わり爆発的な感染状況になっています。茨城県ではまん延防止等重点措置を実施すべき期間を3月6日まで延長しました。

毎年年度末には来年度に向けての活動計画が協議され、新しい目標に向かって動き出す準備を始めている頃です。

何ともすっきりしない日々の中で令和4年度の目標としては、年4回の定例会・月2回の役員会の充実を図り、出来る事から活動を開始したいと考えています。

参加団体の皆様も身動きが取れない歳月をじっと耐えていることと思います。

情報交換を大切にして、この状況を乗り切りましょう。

第61回定例会報告

1月18日（火）、福祉交流センター多目的ホールに於いて「第61回定例会」を開催しました。（出席者：24名）

前回60回定例会（10月19日）から今回61回定例会までの、コロナ禍が比較的下火と感じられた間の活動が報告されました。

（広報紙「笑顔のひろば」に掲載しています）皆、日常の生活が戻ることを待ち望んでいます。



第62回定例会開催のご案内

ネットワーク会員・市担当部・社会福祉協議会・市議会議員・民生委員・その他関係機関の皆様のご出席をお願いします。会員以外の障害者支援団体・個人の方もお気軽にご参加ください。定例会は、4月、7月、10月、1月に開催します。

- 日 時 令和4年4月19日（火）10：00～12：00
- 場 所 取手市福祉交流センター 多目的ホール
- 議 題 行政からの報告／ネットワークからの報告／情報交換 その他



「あいサポート運動」がスタートします

「あいサポート運動」は2022年度からスタートすることが決まり、新年度初頭に鳥取県と取手市が協定を締結することになりました。

皆様のお力をお借りすることとなります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

《あいサポート運動とは》

『2006年国際連合において障害者権利条約が採択され、「全ての障がい者によるあらゆる人権及び基本的自由の完全かつ平等な享有」を目指す」と宣言された。

そして、わが国でも、条約に基づく「障害者差別解消法」が2016年4月になってようやく施行された。この法律に盛り込まれた障がい者への「合理的配慮」という言葉は、19世紀のアメリカに遡るといふ。

しかし言葉だけでは何も変わらない。現実の行動のみが、理念に命を吹き込む。そのための実践活動が重要であり、広く真の共生社会についての理解が共有されなければならない。

鳥取県では2009年11月28日から、国の法制定に先立って障害者権利条約の理念を実現するため、「障がいを知り、共に生きる」をモットーに、一人ひとりが学び行動する「あいサポート運動」がスタートした。

地域で共に生きる住民が多様な障がいの特性を理解し、身近にできる手助けや配慮を実践する「あいサポーター」となり、これを支える企業や団体なども参画する草の根運動である』

(著書 「鳥取力」より引用)

この理念に賛同し、2020年4月からの準備期間を経て、いよいよ2022年度から鳥取県との協定締結後に「あいサポート運動」がスタートします。スタートするにあたって障害福祉課職員、社会福祉協議会職員、ネットワーク役員が参加し、1月21日、2月1日にあいサポーター研修(勉強会)を開催いたしました。2月18日には、講師をつとめるメッセージ研修(デモ)を開催し、今後市民の皆さんへの研修をよりスムーズに進めていくために意見交換を行いました。

茨城県内では初となるこの取り組みによって、多くの市民がこの運動に参加し、企業や団体、学校等も一緒になって運動を盛り上げ、共に暮らしやすい地域社会を皆さんと一緒に創っていきたいと思います。

(阿部 洋子 記)



あいサポーター研修(勉強会)

実施日：1月1月21日(金) / 2月1日(火)



メッセージ研修

実施日：2月18日(金)

自立支援協議会報告

《自立支援協議会シンポジウム》

新型コロナ蔓延のために延び延びになっていたシンポジウムが2月7日開催されました。対面で計画していましたが、オミクロン株が暴れだし、オンライン開催となりました。

現在の委員の任期が今年度で終了するので、まずは開催されて次年度に繋げる準備ができて、よかったですと思います。

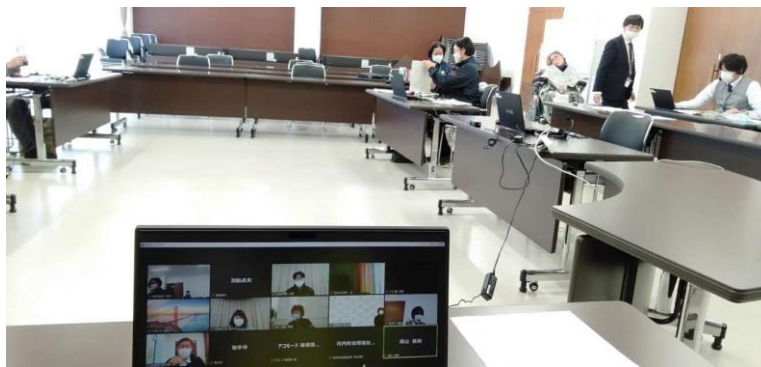
このシンポジウムの目的は障害者が非常時に宿泊できる施設を市内に整備することです。(地域生活支援拠点事業)

基調講演は我孫子市にある高齢者と障害者が共存するアコモードという特別養護老人ホームの施設長が今のようなスタイルに至るまでのきっかけと経緯、そしてどれだけ利用者に喜ばれるようになったかを話していただきました。

その後、市内の施設や相談員のパネルディスカッションで各事業所の役目と今回のテーマに基づいた感想を話していただきました。

どれも、障害者にとって非常に大事なテーマで期待するものでした。

このシンポジウムをきっかけに自立支援協議会としては、拠点の面的整備とともにショートステイできる施設を拡充して安心して地域で暮らせるような環境を作りたいと思いました。(宮脇 貞夫 記)



取手市議会 全方位カメラ 見学記

取手市議会に360度議場を見渡せるカメラが導入されたことを聞きつけ、役員会終了後、見学に出掛けました。

取手市議会は委員会の会議映像のインターネット配信に、室内を360度撮影できる全方位カメラを導入した。視聴者は手元のパソコンなどを操作し、見たい場所や市議の表情なども確認することが可能になる。議会事務局の担当者は「市民に『傍聴』に近いリアルな映像を提供できる」と話しており、緊張感のある議会が期待されている。

《毎日新聞の記事から》



《ネットワーク参加団体からのお知らせ》

NPO法人 こ・こ・ろ「いばらきテーマ型募金」にご協力を ～この地域にこどもの居場所や交流の場を！～

地域のこどもが、こ・こ・ろこども食堂に集まり、地域の高校生ボランティアと一緒に宿題や遊びなどコミュニケーションを図りながら、最後に手作りの食事を摂る。

また地域住民も集まりお弁当を持ち帰る人、一緒に食べる人など。

子どもの居場所であり、地域の交流の場として機能し続けるために、あたたかいご支援・ご協力をお願いします。



(写真：2021 クリスマス会)

◇運動期間：令和4年1月1日から3月31日まで

◇募金者：社会福祉法人 茨城県共同募金会（この寄付金がこ・こ・ろの活動を応援）

◇応募用紙（振込用紙）は社協・公民館等にあります

◇連絡先：080-1369-5155（担当：志賀）

《ホームページアドレスを変更します》

これまでのホームページサーバーが3月31日に終了することになり、4月1日よりホームページアドレスを下記の通り変更します。

ホームページ URL：ss192693.stars.ne.jp/index.htm

《令和4年度会費を集めます》

*第62回定例会（4月19日）にて集金します。ご協力をよろしくお願い致します。

- (1)正会員 団体1口 1,000円 1口以上
個人1口 500円 1口以上
- (2)賛助会員（団体・個人）1,000円 1口以上

とりで障害者協働支援ネットワーク会報
「笑顔のひろば」第72号

- 発行：令和4年3月1日
- 発行所：とりで障害者協働支援ネットワーク
- 発行者：染野和成
- 編集者：武藤ほとり 石塚照子
- 連絡先：取手市本郷5-4-21

TEL：090-1426-6588（石塚）

時間：平日 10:00～15:00

E-mail：toride.ssknet@gmail.com

HP：ss19263.stars.ne.jp/index.htm

《会員募集》

ネットワークの趣旨に賛同する皆様の参加、ご協力をお願いします。随時入会を受け入れておりますのでお申し出ください。
寄付金についてもよろしくお願いします。

○会費（年額）

- (1)正会員 団体1口 1,000円 1口以上
個人1口 500円 1口以上
- (2)賛助会員（団体・個人）
1口 1,000円 1口以上

■会費・賛助会費・寄付金の振込先■

口座番号 常陽銀行 取手支店

普通 1887469

口座名義 障害者協働支援ネットワーク

代表 染野 和成